

上伊那

日刊

長野日報

Nagano Nippo

ご購入ありがとうございます

2月16日(火)

発行所 長野日報社

〒392-8611 諏訪市高島3 ☎0266-52-2000(代)

©長野日報社2021

楽しい冬の野外活動 駒ヶ根キャンプセンターで催し



たき火をして、じっくり焼き上げた芋を手にする参加者ら

駒ヶ根市の駒ヶ根キャンプセンターで14日、家族連れらに冬の野外活動を楽しんでもらう催しがあった。同市と宮田村から約100人が参加。たき火を囲んで芋を焼いたり、まきストーブの炎で焼いたピザを味わったりし、火や自然の恵みを体感した。

両市村や国土交通省天竜川上流河川事務所、駒ヶ根観光協会で構成する駒ヶ根高原砂防フィールドミュージアム運営協議会が主催した。

参加者は焼き芋用に、キャンプ場内の落ち葉を拾い集めた。こんもりと積み上げた葉の中に、サツマイモを投入。1時間ほど

かけて、じっくりと焼き上げた。ほくほくの芋に、宮田村東保育園年長児の芳池朔ちゃん(6)は「甘くておいしい」と笑顔。父親の和彦さん(33)は「コロナ禍で外出を控え気味。子どもが自然を楽しんでいて、良かったです」と話した。

催しには、駒ヶ根工業高校(駒ヶ根市)機械科の生徒有志たちが協力。ドラム缶を活用したストーブでピザを焼いて、参加者に振る舞った。お汁粉やカレーライスの提供もあり、体を温めた子どもたち。宝探しゲームに取り組み、自然の中を駆け回っていた。(寺田英祥)